

| | |
|----------|---|
| 協定企業名 | 株式会社清流メンテナンス |
| 開催日時 | 平成 26 年 11 月 20 日 (木) 13:30~15:30 |
| 開催場所 | 「清流の森」(四万十市西土佐半家市有林) |
| 主な参加者・人数 | 清流メンテナンス社員 6名 竹村総合建設、四万十市、高知県 9名 合計 15名 |
| 概要 | 間伐体験 |
| 当日の様子 | <p>秋晴れの天気の中、四万十市西土佐の半家（はげ）神社前に集合し、第4回の「清流の森」交流活動が行われました。</p> <p>開会式では、四万十市西土佐支所の篠田課長から協働の森づくり事業への協力に対する感謝と歓迎の挨拶があり、次に、株式会社清流メンテナンスの宇田代表取締役社長様から、4月に社長に就任し、今回の交流活動を楽しみにしていたことや来年度協定期間が終了するが引き続き協定を更新し、四万十市の森林の再生等に協力していきたいとの挨拶がありました。</p> <p>そして、県からは、林業環境政策課井澤課長補佐から歓迎と感謝の挨拶が、また県幡多林業事務所職員からは間伐作業の手順、安全面での注意事項の説明が行われ開会式は終了し、車5台に分かれ、今回、間伐を行う協定林に向かいました。</p> <p>協働の森づくり事業で整備した幅員2mほどの林道を5分ほど車で入ると、今回間伐作業を行う場所に到着。</p> <p>皆さん、お揃いのヘルメット、作業服、地下足袋、準備万端で間伐地の斜面に登って行きます。そして、県幡多林業事務所や竹村総合建設の職員の指導のもと、参加者はそれぞれ間隔をとりながら、手鋸（ノコギリ）を使ってヒノキ（約30年生）の間伐を行いました。</p> <p>今回、4回目の交流活動ということで、これまでの経験を活かし、最後まで1人で切り倒す方がいる一方で、初めての慣れない作業で、息を切らし、交代しながら協力して切り倒す方もいたり、それぞれが自分のペースで3~5本ほどの間伐を行いました。</p> |



宇田社長から挨拶



間伐体験地に到着



間伐した木が一発で倒れると、その瞬間、周りから大きな拍手が響きました。しかし、うまく倒れる木ばかりという訳にはいきません。かかり木になってしまい、「木回し」という器具を使ってなんとか切り倒そうとするのですが、うまくいかず、間伐作業の本当のしんどさを身を以って経験された方もいました。



ゆっくり1時間余りかけて行った間伐作業もこれで終了。半家神社へ戻り、全員で記念撮影を行い、今回の交流活動は終了となりました。皆さま、本当にお疲れ様でした。

